

令和6年度のミゾゴイ試験放鳥事業について

横浜市立金沢動物園

1. はじめに

横浜市立動物園では平成16年より絶滅危惧種の鳥類「ミゾゴイ」の保全を目的に、傷病鳥獣保護事業で動物園へ持ち込まれた怪我などの理由により野生に返せない個体を対象とした飼育繁殖技術の研究を開始しました。

平成27年には横浜市繁殖センターにて国内初の繁殖に成功し、現在までに着実に個体数を増やしています。

令和5年には次のステップとして横浜市立動物園と横浜市繁殖センターが共同で飼育下繁殖したミゾゴイを野生へ帰す技術を確認するために「試験放鳥事業」を開始しました。これは将来ミゾゴイが絶滅する可能性が高まり、飼育下の個体を野生へ復帰させる必要が生じた場合に備えるもので、飼育下で繁殖した個体に野生で生存できる能力を獲得させるための訓練方法や放鳥技術、モニタリング技術等を含めた総合的な野生復帰技術を習得することを目的とした事業です。

2. 令和6年度試験放鳥事業の経過

3月25日：放鳥個体を繁殖センターから金沢動物園内専用施設へ移し、採餌及び飛行訓練開始

5月23日：金沢動物園内緑地にて1羽の試験放鳥実施

※放鳥個体には足環と追跡装置を装着しています。

3. ミゾゴイ及び試験放鳥事業の様子



ミゾゴイ外観



追跡装置装着の様子



ミゾゴイ飼育施設の外観